

第4回 東日本大震災支援全国ネットワーク 常任世話団体及びチーム長合同会議 議事録

1. 開催年月日： 2011年6月1日（水）

2. 開催場所： 日本青年会議所会館 4階会議室

3. 出席者： 総数 11名（事務局を除く）

◇ 出席代表世話人（3名）

栗田暢之 NPO 法人 レスキューストックヤード

田尻佳史 認定 NPO 法人 日本 NPO センター

山崎美貴子 「広がれボランティアの輪」連絡会議

◇ 出席常任世話団体（5名）

尾崎靖宏 日本生活協同組合連合会

森本勝也 公益財団法人 日本青年会議所

阿部陽一郎 社会福祉法人 中央共同募金会（兼 資金チーム）

山口誠史 NPO 法人 国際協力 NGO センター（兼 国際チーム）

関口宏聰 NPO 法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会（兼 制度チーム）

◇ 出席チーム（3名）

池座剛 NPO 法人 自立生活支援センター・もやい（情報チーム）

澤野次郎 災害救援ボランティア推進委員会（ガイドラインチーム）

加藤一紀（ユースチーム）

◆ 欠席常任世話団体（5団体）

東京災害ボランティアネットワーク

公益財団法人 日本財団

日本赤十字社

特定公益増進法人 財団法人 日本 YMCA 同盟

NPO 法人 NPO 事業サポートセンター

4. 議事

【議題 1】報告事項

資金チーム

JPF と JCN が共催で助成報告会をしてはどうかとの案がある。

地域チーム

各地からの活動状況を聞き取りしている。10箇所のうち3箇所は聞き取り済み。

ガイドラインチーム

ボランティアバスガイドを発行した。夏の安全管理ガイドをボランティア検討会の安全衛生部会で作成中。

情報チーム

活動マップ、ボラバス情報、イベント情報を引き続き発信している。

RANS では、各チームの状況をアウトプットしていく仕組みをつくりたい。支援金・助成金ページも計画中である。

ユースチーム

学生が主体になって行なっている活動やプロジェクトの調査をしている。10都道府県の大学をしらべ動きのある大学をピックアップした。活動内容を一覧表に落としこんでいる。学生ボランティア活動体験談の集約を計画中

国際チーム

モノから質へのニーズになる中で海外からのオファーが変わってきた。これから能力を発揮する NGO もあり、寄付の転換期にあると感じている。心のケア、人権、セミナー、トレーニング、研修といったところが注目されている。

NGO と NPO とのフロントラインネットワークの組織化支援が必要。NGO とのマッチングミーティングの開催などは重要と考えている。

現地会議

宮城での現地会議が終了した。参加者 190 名、前半は 4 団体から発言をいただき、後半は会議体とした。参加者間で合意できた事項は、あらためて被災地

は広域で、地域によって復旧復興の状況は異なる、ボランティアは必要であること、復興は長期に渡る、地元主体を尊重し外部からの支援は地元と向き合い、地元の団体などと連携して信頼関係を築くこと、今後の課題である「くらし」の支援や雇用も含めて、ボランティア、NPO、NGO でできることを引き続き知恵を出し合うこと、など。

【議題 2】検討事項

事項 1. 各チームの今後の取り組み内容及び体制について

本会では保留とする。

事項 2. 会員団体の登録状況とその現状把握について

震災後 2 ヶ月半で落ち着きつつもあるので、地元の団体に入ってもらえるよう に整えていく。スケールメリットを使うことも重要。その視点で今後も考えていく。

5. その他

次回の常任世話団体会の日程は、追って調整する。